

- 問1 平安時代、貴族の住居として「寝殿造（しんでんづくり）」と呼ばれる建築様式が広まった背景や理由として適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. キリスト教の伝来とともに、南蛮文化の影響を受けた豪華な石造りの建築が流行したため。 | 2. 遣唐使の停止によって中国風の建築様式を模倣する必要がなくなり、日本の気候や風土に合わせて風通しの良さなどを重視するようになったため。 | 3. 武士が政治の実権を握ったことで、防衛機能を重視した質実剛健な住まいが求められるようになったため。 | 4. 大陸との交易が活発になり、高床式の住居が東南アジアから導入されたため。 |
|--|---|---|--|
-
- 問2 日本の歴史において、7世紀から12世紀頃までの飛鳥時代、奈良時代、平安時代を一括りにする時代区分を何と呼びますか。歴史の大きな流れを整理した分類に基づいて答えなさい。（2017年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 近代 | 2. 近世 | 3. 中世 | 4. 古代 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問3 12世紀の東北地方において、奥州藤原氏が中尊寺金色堂に代表されるような壮麗な仏教文化を築くことができた背景として、最も適切な説明はどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。 | 2. 日宋貿易の拠点として港湾を整備し、宋から輸入した大量の貨幣と高級な陶磁器を独占的に流通させていたから。 | 3. 鎌倉幕府から地頭として任命され、東北全域の徴税権を公式に認められたことで、安定的な財源を確保できたから。 | 4. 平氏との親密な関係を通じて、都の最新の建築技術と、瀬戸内海の制海権を背景とした物流網を掌握していたから。 |
|--|--|---|---|
-
- 問4 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 北条氏 | 2. 平氏 | 3. 藤原氏 | 4. 蘇我氏 |
|--------|-------|--------|--------|
-
- 問5 平清盛は、武士として初めて政治の実権を握る際、藤原氏が用いた「摂関政治」の仕組みを模倣しました。平清盛が自身の権力基盤を固めるために行った具体的な行動として、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 娘の徳子を高倉天皇の后とし、その間に生まれた安德天皇を即位させて外戚となった。 | 2. 自らが上皇となり、摂政や関白を介さずに直接政治を行う「院政」を開始した。 | 3. 武力によって京都の朝廷を完全に解体し、鎌倉に独自の政治拠点（幕府）を開いた。 | 4. 遣唐使の派遣を継続し、唐の進んだ政治制度を取り入れることで中央集権化を進めた。 |
|--|---|---|--|
-
- 問6 平安時代末期の1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立を背景に、摂関家や武士団も二手に分かれて戦った政変が起こりました。この争いをきっかけに武士の力が朝廷に認められ、その後の平氏政権の誕生へとつながる重要な歴史的事象は何ですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 承久の乱 | 2. 保元の乱 | 3. 応仁の乱 | 4. 平治の乱 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問7 平安時代の政治の変遷について述べた次の出来事（1）～（3）を、時期の古いものから順に正しく並べたものを選択してください。
 （1）桓武天皇が東北地方の蝦夷を従わせるために、坂上田村麻呂を征夷大將軍として派遣した。
 （2）白河上皇が幼い皇子に天皇の位をゆずり、自身は上皇として「院」で政治を行った。
 （3）藤原道長が自分の娘を次々と天皇の后（きさき）にすることで、天皇の外戚として権力を握った。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. （1）→（3）→（2） | 2. （1）→（2）→（3） | 3. （2）→（3）→（1） | 4. （3）→（1）→（2） |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
-
- 問8 平安時代において、藤原氏が自身の娘を天皇の后（きさき）とし、生まれた子どもを次の天皇に立てて外戚関係を築き、政治の実権を握った体制を何と呼びますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 摂関政治 | 2. 武家政治 | 3. 親政 | 4. 院政 |
|---------|---------|-------|-------|
-
- 問9 平安時代末期の外交と社会に関する記述として、正しいものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 織田信長が大輪田泊を修築したことで、堺の商人と連携した自由な取引が始まった。 | 2. 平清盛は大輪田泊を整備し、宋から輸入された貨幣が国内に流通するきっかけを作った。 | 3. 藤原頼通が遣唐使を廃止したことで、日本独自の国風文化が大きく発展した。 | 4. 北条泰時が大輪田泊を拠点に貿易を行い、得られた利益で御成敗式目を制定した。 |
|---|---|--|--|
-
- 問10 平安時代中期、藤原道長やその子の頼通は、自分の娘を天皇の后（きさき）として送り込み、その子供を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇の母方の親戚（外戚）として、天皇が幼少のときには摂政、成人した後には関白となって政治を行う体制を何といいますか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 摂関政治 | 2. 武家政治 | 3. 院政 | 4. 執権政治 |
|---------|---------|-------|---------|
-
- 問11 平安時代中期に行われた摂関政治について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 聖徳太子が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定して、天皇を中心とした国づくりを目指した。 | 2. 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。 | 3. 白河上皇が退位した後に、天皇に代わって政治を行う仕組みを整え、藤原氏の勢力を抑えようとした。 | 4. 平氏が太政大臣の職に就き、一族で高い役職を占めることで、武家として初めて政治の実権を握った。 |
|--|---|---|---|
-
- 問12 平安時代、藤原道長に代表される藤原北家は、天皇が幼少のときには「摂政」として、成人した後には「関白」として政治の実権を握りました。このように、天皇の母方の親戚（外戚）としての立場を利用して権力を振った政治体制を何と呼びますか。（2024年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 武家政治 | 2. 律令政治 | 3. 摂関政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
-
- 問13 平安時代において、自分の娘を次々と天皇のきさきにすることで有力な親戚となり、摂政や関白として政治の実権を握る「摂関政治」の全盛期を築いた人物は誰ですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 徳川家光 | 3. 西郷隆盛 | 4. 藤原道長 |
|---------|---------|---------|---------|